

令和2年人口動態統計(確定数)の概要 (山形県分)

1 主な調査結果

(1) 実数

	山形県			(参考) 全 国		
	令和2年	令和元年	増減	令和2年	令和元年	増減
出 生	6,217	6,401	△ 184	840,835	865,239	△ 24,404
死 亡	15,348	15,719	△ 371	1,372,755	1,381,093	△ 8,338
うち乳児死亡	14	15	△ 1	1,512	1,654	△ 142
自然増減	△ 9,131	△ 9,318	187	△ 531,920	△ 515,854	△ 16,066
婚姻(組)	3,530	4,014	△ 484	525,507	599,007	△ 73,500
離婚(組)	1,362	1,433	△ 71	193,253	208,496	△ 15,243

(2) 率(人口千対)

	山形県			(参考) 全 国		
	令和2年	令和元年	増減	令和2年	令和元年	増減
出 生	5.9 (43位)	6.0 (43位)	△ 0.1	6.8	7.0	△ 0.2
死 亡	14.5 (5位)	14.7 (4位)	△ 0.2	11.1	11.2	△ 0.1
うち乳児死亡	2.3 (11位)	2.3 (11位)	0.0	1.8	1.9	△ 0.1
自然増減	△ 8.6 (43位)	△ 8.7 (43位)	0.1	△ 4.3	△ 4.2	△ 0.1
婚姻	3.3 (44位)	3.8 (44位)	△ 0.5	4.3	4.8	△ 0.5
離婚	1.28 (44位)	1.34 (44位)	△ 0.06	1.57	1.69	△ 0.12

※ () 内は全国順位。以下同じ。

※ 乳児死亡は出生千対。

(3) 合計特殊出生率

	山形県			(参考) 全 国		
	令和2年	令和元年	増減	令和2年	令和元年	増減
合計特殊出生率	1.37 (32位)	1.40 (32位)	△ 0.03	1.33	1.36	△ 0.03

※ 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの。一人の女性が一生の間に生む平均の子どもの数に相当する。

○人口動態統計について

厚生労働省政策統括官付参事官付人口動態・保健社会統計室で集計・公表している国の基幹統計。

- ・対象期間 令和2年1月1日～令和2年12月31日
- ・対象客体 令和2年に日本において発生した日本人の事象
- ・その他

今回公表されるのは6月の概数値の確定値。

2 主な内容

(1) 出生

出生数は、県では減少した。

出生率(人口千対)は、全国6.8(前年比△0.2)、県5.9(前年比△0.1)であった。

合計特殊出生率は、全国1.33(前年比△0.03)、県1.37(前年比△0.03)となり、県は全国を0.04上回った。

(2) 死亡

死亡数は、県では減少した。

県における死因の上位3位は、悪性新生物、心疾患、老衰となっている。

死亡率(人口千対)は全国 11.1(前年比△0.1)、県 14.5(前年比△0.2)であった。

自殺による死亡数は、県では180人(前年比△15人)となった。

死因別死亡数・死亡率

順位	死因名	死亡数(人)				死亡率(人口10万対)		
		令和2年	構成比	令和元年	増減	令和2年	令和元年	全国 令和2年
1	悪性新生物	3,890	25.3%	3,952	△ 62	366.8 (7位)	369.3 (7位)	306.6
2	心疾患	2,379	15.5%	2,423	△ 44	224.3 (6位)	226.4 (6位)	166.6
3	老衰	1,904	12.4%	1,878	26	179.5 (1位)	175.5 (1位)	107.3
	小計	8,173	53.3%	8,253	△ 80	-	-	-
	自殺	180	1.2%	195	△ 15	17.0 (19位)	18.2 (5位)	16.4

(3) 自然増減

出生と死亡の差である自然増減数は、県ではマイナスとなった。

自然増減率(人口千対)は、全国△4.3(前年比△0.1)、県 △8.6(前年比+0.1)となった。

(4) 婚姻

婚姻件数は、県では減少した。

婚姻率(人口千対)は、全国4.3(前年比△0.5)、県3.3(前年比△0.5)となった。

平均初婚年齢

山形県				全国			
令和2年		令和元年		令和2年		令和元年	
夫	妻	夫	妻	夫	妻	夫	妻
30.9	29.2	30.9	29.0	31.0	29.4	31.2	29.6

(5) 離婚

離婚件数は、県では減少した。

離婚率(人口千対)は、全国 1.57(前年比△0.12)、県 1.28(前年比△0.06)となった。